

「大きくなったゆきだるま」

「どんな鬼がいるのかな？」

雪が降った次の日 園庭は一面の銀世界です。

わあ! まぶしい!

ゆきだるま 作ろう!

うん! 作ろう!

ゆきだるま作りを始めた子どもたち。雪の玉は 転がす度に「キュッ、キュッ」とうれしそうな音を 立てます。

うーん! 動かん。

あーい! みんな 手伝って!

いいよ。

大きくなった雪の玉を園庭の あちこちで力を 合わせて転がす姿が 見られます。

よーし! みんなで 転がそう!

せーの!

うーん!

重たい!

でっかいから 頭乗せられん どうしよう。

えしたら、寝てる 雪だるまに しようよ。

そうか、 そうしよう。

5歳児の子どもたちはさそく 集まって相談です。

こうして、子どもたちが力を合わせて作った ゆきだるまが、いくつも完成しました。

できた!

寝ているゆきだるまたちも 子どもたちに負けないうれし そうでした。

やった!

友だちと相談したり、協力しながら作った 大きな大きなゆきだるま。出来上がったときの 喜びは、みんなの心に大きな達成感をもたらして くれました。園庭にゆきだるまが、いっはいの 風景も楽しかった思い出の一つとして心に 残ることでしょう。

節分が近くなってきたある日。 3歳児の子どもたちに節分の話を しました。

どんな鬼が じいの中に 入ってくるの 思う?

なまむし鬼

茶とけんか。 てもぎく 仲直り しようし。

ちよと 泣いた だけ。

おこりんぼ鬼

にんじん 好き。 でも鬼に 入らないうれ しいやが。

すききらい鬼

周りの友だちの言葉にじっと耳を 傾けていたAちゃんが、小さな声で つぶやきました。

あのね。 わたしは …。

絵本や紙しばいの話から鬼のこを知り、 小さな胸を ドキドキさせて いたAちゃんの 素直な気持ちが 伝わって きました。

ドキドキする 鬼かな。

子どもたちのさまざまな思いを受けとめたり 共感したりしながら、友だちと一緒に 行事を楽しむことができるよう、後且かして いきたいと思っています。